

令和4年度 第1回 金指小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年5月9日（月） 15時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 金指小学校 さかみちホール
- 3 出席委員 宮澤 勝實、青嶋 伸介、内山 康子、巨島 信慶、菊地 幸江、
飯田 博乃、黒瀬 憲太郎
- 4 欠席委員 野沢 英年
- 5 学 校 山村 健一（校長）、縣 倫子（教頭）、野中 律宏（CS担当教員）
入手 佑香（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - (1) 新規委員任命
 - (2) 浜松市学校運営協議会規則確認
 - (3) 議長の選出及び前回会議録確認
 - (4) 熟議
- 9 会議録作成者 CSディレクター 入手 佑香
- 10 会議記録

司会の縣教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 新規委員任命

校長より、委員任命書及び学校支援コーディネーターの委嘱書が渡された。

(2) 浜松市学校運営協議会規則確認

浜松市教育委員会教育総務課 小川指導主事より説明があり、確認を行った。

(3) 議長の選出及び前回会議録確認

司会から、議長の選出について巨島委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

議長から、前回までの会議内容確認について、資料に基づき説明があり、振り返りを行った。

(4) 熟議

- ① 総合的な学習の時間で取り組む地域に関する学習について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき総合的な学習の時間で取り組む地域に関する学習について説明があった。また、子供たちが地域に愛情と誇りを持ち、いつまでも金指の町を大切にしたい心情を持てるようにしていきたいとの話があり、委員からは、以下の発言があった。

- ◎ 学校だよりの回覧を活用し、地域の方へ、総合的な学習の時間の中で地域に出掛ける目的やどのような学習しているのか、より分かりやすく広めたほうがよいのではないかと。(宮澤委員)
- ◎ 金指の町は、以前は栄えていた。しかし、現在は、住宅は多く建っているが、商店は少なくなっている。そのような現実を総合的な学習の時間を通して、金指で生活している子供たちにぜひ知ってもらい、地域に関する学習を進めてもらいたい。(青嶋委員)
- ◎ 1月の学習成果発表会では、学習の成果を保護者だけでなく、地域の方にも、子供たちがどんなことを感じ、どのように思ったのか生の声で聞いてもらいたい。(内山委員)
- ・ 学習成果発表会について、新型コロナの影響がない場合は、大々的に実施したいが、現段階では断言できない。しかし、保護者とは別の機会に、子供たちから自治会長や区の方に要望などを届けることは考えられる。(校長)
- ◎ 以前、管内の中学校の取組で、独居老人に年賀状を出す活動があり、地域の人との繋がりを実感したことがあった。最近は、手紙を書く機会が減っているが、子供たちが、手紙の交換で地域の方の名前を知り、繋がることで地域のお年寄りという事ではなく、身近な存在に感じることはできるのではないかと。(飯田委員)
- ◎ 金指の発展性について、子供たちの視点で、もう一度見つめ直すと違った方向性でよいアイデアが生まれると素晴らしい。(青嶋委員)
- ・ 地域を活動範囲にすることは難しいこともあるが、直接、身近にいる人に会い、話を聞き、実際に自分の目で見ることを大事にしたい。(校長)
- ◎ 各学年の学習イメージが、学年ごとに学習の過程が段階的になっている。最終的な学習活動が「いつまでもすてきな町 かなさし」はとても良いと思う。(巨島委員)
- ◎ 新型コロナによる暮らしの変化は、自宅に滞在しながら、リモートワークや自ら購入した物を届けてもらうようになった。今後は、「暮らしやすい」ということに自分たちの地盤を置く人が出てくるのではないかと。暮らしやすい町の理由とはどこにあるのか総合的な学習の時間に繋がるとよい。(巨島委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

② 令和4年度「夢育やらまいか事業」について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ◎ 地域に住んでいる方と児童が触れ合う活動について、昨年度はどのような交流があったのか。(黒瀬委員)

- ・ 生活科の学習の中で、地域の方にさつまいもの苗植えと育て方についてご指導いただいた。また、委員である巨島さんには、すべての学年に入って、お話をさせていただいたり、体験をさせていただいたりしている。(教頭)
- ・ キャリア教育では、生き方について、地域の方から職業観やその職業に対してどのようなことを考えているのかを尋ねた。(教頭)
- ・ 実相の森で育てている椎茸の話の聞いたり、実相の森の木を使った工作の活動などを行ったりした。(教務・野中)
- ◎ 金指の町には、知られていない有能な人材がたくさんいると思う。人材を広げていくためには、総合的な学習の時間に関連し、子供たちから地域の方や高齢者へ、昔の金指の様子や金指のよいところなどを質問し交流していく中で、学校に親近感が湧きボランティア等に協力してくれる方が増えるのではないかと。(黒瀬委員)
- ◎ 町を回りながら、お年寄りに手紙や学習した内容を届けるなど、子供との直接的な交流ができないかと。(黒瀬委員)
- ◎ 手紙での交流は素晴らしいことである。今の時代の風潮は、匿名性が求められることもあるが、地域の方は子供たちと対面での交流を求めていることもあるのではないかと。(巨島委員)
- ◎ 地域の方は、実相の森の活動など知らない方もたくさんいる。活動の発信のため、アンケートを実施したり、手紙を出したりすることで、学校を身近に感じてもらえるよい機会になるのではないかと。(黒瀬委員)
- ◎ 昨年度、ボランティアの募集をしたが、地域の方で参加を希望された方や反応はあったかと。(青嶋委員)
- ・ 今年度の地域だよりで募集した、実相の森の地域サポーター募集に2名の方が応じてくれた。(教頭)
- ・ 昨年度、募集をはじめ、読み聞かせなど、学校のサポーターとして登録いただいている方がいる。ボランティアの募集は継続し、金指小学校の応援団を増やしていきたい。(校長)
- ・ 学校での取り組みや、子供たちが学習のために地域に出ていくことなど外へ発信することは、大切だと改めて感じた。学校だよりを活用し地域に情報提供していきたい。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年7月1日(金)午後13時15分からさかみちホールで開催する旨の報告があった。

また、次回の議長については、菊地委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。